

SDGs未来都市等進捗評価シート

2020年度選定

石川県加賀市

2023年9月

SDGs未来都市計画名

自治体SDGsモデル事業
又は特に注力する先導的取組

加賀市 SDGs 未来都市計画

官民協働のスマートシティによる持続可能なまち「加賀市は、スマートSDGsへ。」

—

1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

(1) 計画タイトル

加賀市 SDGs 未来都市計画 官民協働のスマートシティによる持続可能なまち「加賀市は、スマートSDGsへ。」

(2) 2030年のあるべき姿

市民生活の質を向上させるスマートシティの推進を図るとともに、「世界首長誓約／日本」の誓約事項を着実に推進することで、「官民協働のスマートシティによる持続可能なまち」の実現を目指す。

「加賀市版 RE100」の推進による持続可能な都市を目指すとともに、新しいデジタル技術など先端技術の活用によって市民生活の質が向上したスマートシティとする。

(3) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた優先的なゴール



(4) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2022年（現状値）	2030年（目標値）	達成度（%）
1	自治体新電力加入件数 【7.2,7.a,8.3,9.5,12.b,17.17】	2020年 70 件（高圧）	2022年 79 件（高圧）	2030年 100 件（高圧）	30%
2	MaaSアプリのダウンロード件数 【8.9】	2020年 0 DL	2022年 1117 DL	2030年 5,000 DL	22%
3	コンピュータークラブハウス加賀の利用者数 【4.4, 9.5】	2019年 800 人	2022年 1,320 人	2030年度 1,700 人	58%
4	女性就業率 【5.b】	2015年度 50.9 %	2020年 55.5 %	2030年 67.4 %	28%
5	合同面接会やテレワークによる新規障がい者雇用件数 【10.2】	2020年 3 件	2022年 1 件	2030年 9 件	-33%
6	加賀市SDGsパートナー制度への登録件数 【11.6,17.17】	2020年 0 件	2022年 50 件	2030年 100 件	50%
7	自治体新電力加入件数 【7.2,11.6,12.2,13.1,13.3,14.1,15.3,17.17】	2020年 70 件（高圧）	2022年 79 件（高圧）	2030年 100 件（高圧）	30%
8	温室効果ガスの削減 【7.2,11.6,12.2,13.1,13.3,14.1,15.3,17.17】	2013年 667,494 t-CO ₂	2020年 505,960 t-CO ₂	2030年 467,246 t-CO ₂	81%
9	公共施設の太陽光パネル設置数 【7.2,11.6,12.2,13.1,13.3,14.1,15.3,17.17】	2020年 6 施設	2022年 14 施設	2030年 15 施設	89%

1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

（5）「2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

各指標にかかる事業を継続して推進する。

取組みにより達成度が低いものもあるが、引き続き2030年のあるべき姿に近づくよう地域で連携を図りつつ取り組みを進める。

5の事業については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、合同面接会の参加企業の減少及び求人の減少が生じ、雇用件数が減少した。

引き続き、ハローワークと連携した就労支援とテレワークを活用した雇用の促進を図る。

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2020年～2022年

(1) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値	2020年実績	2021年実績	2022年実績	2022年目標値	達成度(%)
1	「加賀市版RE100」の推進	自治体新電力加入件数	2020年 70件	2020年 80件	2021年 79件	2022年 79件	2022年 80件	90%
2	加賀市版スマートシティの推進	先端技術を活用した実証実験の実施数(累計) ※官民連携によるもの	2020年 0件	2020年 2件	2021年 4件	2022年 1件	2022年 4件	25%
3	「加賀市版MaaS」の推進	MaaSアプリのダウンロード件数	2020年 0DL	2020年 109DL	2021年 0DL	2022年 1,117DL	2022年 2,500DL	45%
4	「加賀市版MaaS」の推進	MaaSアプリによる提供サービス(機能)数	2020年 0件	2020年 4件	2021年 0件	2022年 5件	2022年 7件	71%
5	未来を担う産業人材の育成	コンピュータクラブハウス加賀の利用数(再掲)	2019年度 800件	2019年 1,273件	2021年 1,436件	2022年 1,320件	2022年度 1,500件	74%
6	未来を担う産業人材の育成	先端技術を活用した実証実験の実施数(再掲)	2020年 0件	2020年 2件	2021年 4件	2022年 1件	2022年 4件	25%
7	産学官金協働によるSDGsの推進	加賀市SDGsパートナー制度への登録件数(再掲)	2020年 0件	2020年 0件	2021年 25件	2022年 50件	2022年 30件	167%

(2) 自律的好循環の形成へ向けた制度の構築等

「加賀市SDGs推進パートナー制度」において、パートナーに向け、SDGsの概念から本市のSDGsの取組に関する講習会や意見交換会を開催している。「加賀市スマートシティ推進官民連携協議会」等の各種協議会を軸として、官民が協働してスマートシティに向けた取組みや実証実験等の積極的な実践ができる体制を整えている。

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2020年～2022年

(3) 「自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

(1) のとおり各事業において目標に向けた取り組みが進められている。目標に対して未達項目があるものの、終了したものはなく、取り組みを継続して実施している。短期間ではなかなか結果にむずびつかないものの、継続していくことで徐々に浸透していくものと捉えている。

個別の特筆事項は以下のとおり。

7の事業については、100%に到達したが、引き続き実証事業等の実施により新たな技術の社会実装を加速させ、スマートシティ化を目指すものである。

2, 6の事業については令和4年度実績が低くなっているが、これまで各種実証という形で続けてきた事業について実装を目指した検討への移行又は事業の終了になるケースが出ていることによるもの。事業の内容により新たな実証も進めていきたいと考えている。

(4) 有識者からの取組に対する評価

・官民協働のスマートシティを目標に掲げ、MaaS（Mobility as a Service = サービスとしての移動）アプリの利用、先端技術による実証実験誘致等を果敢に挑戦している点は評価できる。MaaSアプリ利用が加速することを期待する。

・コンピュータクラブハウスの利用者、SDGsパートナー制度への登録者数等着実な進展が評価され、2030年の目標達成への取り組みを期待する。

・コロナもあり、KPI達成率の低い事業もあるが、今後とも事業を積極的に進めていくことが望まれる。

・自治新電力加入者に対し、SDGs未来都市自治体としての認証等のインセンティブの検討が望まれる。